

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会議名	令和4年度第1回 姫路市環境審議会 地球温暖化対策実行計画改定委員会
2 開催日時	令和4年5月31日（火曜日）10時50分～11時30分
3 開催場所	イーグレひめじ4階 セミナー室B
4 出席者又は欠席者名（敬称略）	（出席者）奥勇一郎（委員長）、中瀬勲（副委員長）、 家永善文、浦上文男、通山由美、筈井久美子、 林叔子、吉田裕康 （欠席者）小河晶子、星尾隆文 （事務局）環境政策室長、環境政策室主幹、環境政策室2名
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可 0人
6 議題又は案件及び結論等	1 議題 「姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定について （諮問第1号）
7 会議の記録	詳細は別紙参照

令和4年度第1回姫路市環境審議会
地球温暖化対策実行計画改定委員会 会議録（内容）

1 審議内容

「姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定について（諮問第1号）

2 会議の記録

(1) 資料説明

「資料1 姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定作業スケジュール（案）」

【質疑応答・意見等】

委員：2月末のパブリックコメントを踏まえた計画書の修正後に、審議会を開催する必要はないのか。

事務局：パブリックコメントをいただいたら、その内容を皆様にお示しする予定である。パブリックコメントの結果によっては、審議会を開催することもあり得る。

(2) 資料説明

「資料2 令和4年度姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定骨子」

「資料3 姫路市域の温室効果ガス排出量の推移」

「資料4 姫路市内の再生可能エネルギーによる年間発電量の推移」

「参考資料1 姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（現行計画）

「参考資料2 脱炭素先行地域計画提案概要」（姫路市）

「参考資料3 改正地球温暖化対策推進法について」（環境省資料）

「参考資料4 地球温暖化対策計画の改定について」（環境省資料）

「参考資料5 兵庫県地球温暖化対策推進計画の概要」

【質疑応答・意見等】

委員：平成30年に策定した実行計画における再生可能エネルギーの導入目標はいくらであったか。

事務局：平成30年の計画では再生可能エネルギーの導入目標を設定していない。

委員：ゼロカーボンキャッスル構想は市の独自提案であるか。

事務局：関西電力との共同提案である。

委員長：ゼロカーボンキャッスル構想は、現時点でカーボンニュートラルの状態になっているのか。そうでなければ、いつを想定して対象エリアでカーボンニュートラルの状態を実現する予定であるのか。

事務局：令和4年度から5年間の計画である。本事業は、今後の5年間で対象とする公共施設のカーボンニュートラルを実現するものである。

委員：国や県の目標に合わせて、産業界で温室効果ガス4割弱削減となると、大企業はともかくとして、中小事業者は省エネ設備導入くらいしか手法がない。電気の再生可能エネルギー比率が増加すれば、その波及効果として温室効果ガスを削減できるものの、電力会社頼みになってしまう。国や県の目標を達成するためには、産業界が背負う削減目標が多くなることが予想されるが、その実現可能性について非常に心配している。

委員長：いただいた意見を考慮して計画のたたき台を作成する方向として良いか。

事務局：承知した。

委員：風力発電の導入は計画にあるか。例えば、家島や西島に導入できるのではないか。

事務局：瀬戸内海は風量が見込めず、収支度外視であれば設置できないことはないものの、現実的ではないというのが本市の意見である。

委員：小水力発電を導入する計画はあるか。

事務局：市内では、兵庫県の企業庁が、水源である神谷ダムから船津浄水場への導水（約100mの落差）を利用した「小水力発電」を実施しているが、これは浄水場内に設置された設備である

本市でも過去に小水力発電への補助事業を実施したものの、申請者はなく、市内の河川や水路における小水力発電のポテンシャルは少ないと考えている。

委員：現状は脱炭素の機運が高まっているので、これから小水力事業に手を上げる事業者がいると考える。今後、小水力に関する助成金があるとありがたいのではないか。

委員：小水力発電は難しいと思う。小水力発電を立ち上げたものの、潰れている事例を聞いたことがある。

事務局：小水力発電には、イニシャルコストのほか管理団体による長期的な設備の保守や維持管理が必要である。導入にあたっては、これらの課題を踏まえた上で、投資回収が可能かをシミュレーションしておく必要がある。

委員：雨が降った時に雨水を一時的に貯蔵する植栽空間である「雨庭」というものがある。日本は導入が遅れているが、海外ではブームとなっている。

委員長：ヒートアイランド対策効果が期待できるようなご意見でもあるので、ぜひご検討いただきたい。

委員：兵庫県の再生可能エネルギー導入目標が、国の目標と比較して少ないのはどうしてか。

事務局：国では秋田県や千葉県で大規模な洋上風力発電を導入することから、国の目標値にはそれらが加味されているが、兵庫県のように大規模な洋上風力が見込めない地域の場合は、再生可能エネルギーが太陽光発電や水力発電に限られるため、その点で導入目標値に差異が出ているものと考え

以上